

校長のつぶやき II

校長室便り 第19号

令和2年7月8日 山内

○前期生徒大会議案書 —放送による大会—

7月8日(水)6校時、密を避けるため、放送による前期生徒大会が各教室で行われました。「デジタルネイティブ世代」と言われる岩高生の皆さんにとって、映像や字幕スーパー無しで音声だけによる「ラジオ」のような形は違和感があると思いますが、手元にある紙媒体の資料とスピーカーから流れる音に注意するという形は、所謂「昭和の時代」の高校生や大学生にとってはとても一般的な物でした。

さて、当日は7つの議案が賛成多数で可決されましたが、その中の第3号議案と、生徒会長・菊地茉帆さんの挨拶を紹介します。

◇生徒会長 菊地 茉帆 さん

生徒から先生方へ意見を伝え皆さんが快適に学校生活を送れるようにするための貴重な話し合いの場です。生徒大会に積極的に参加し、岩高をもっと良い学校にしていきたいと思います。ご協力お願いします。

◇生徒会スローガン「不撓不屈 塵も積もれば山となる ～岩高のさらなる発展への第一歩～」

本年度岩高は「イエローカード廃止」や「スマホルールの徹底」など岩高生の自主性を重視した改革が行われました。そのような岩高のさらなる発展の一步にあたって「どんな困難にも屈せず、小さいことを積み重ねていきたい」という気持ちを込めてこのスローガンにしました。皆さん、岩高生として同じ目標を持ち、目標を達成するまでお互い協力していきましょう。

○心のケア支援員須藤憲枝先生 —不思議な力—

毎朝、矢内先生や石橋先生と一緒に、昇降口に立ち、笑顔で岩高生に挨拶し、検温し忘れた生徒の対応をしていただいています。様々な資格をお持ちであり、カウンセリングのご経験も豊富ですので、岩高生の悩みや相談にのっていただいています。須藤憲枝先生です。以前は中学校でお勤めの経験もありですので、知っている岩高生もいたそうです。須藤先生の笑顔には不思議な力があります。悩み事を話しやすい雰囲気、もう少し頑張ってみようという力が湧いてきます。須藤先生がお持ちのお力は、

「観察力・洞察力・判断力・決断力・記憶力」といった目には見えず、数量では表現できない「無形の力」なのですが、今や岩高にはなくてはならない存在です。私をはじめ、須藤先生から様々なことを学んでいる岩高の先生方も少なくないはずです。「安全で安心な学校づくり」に強い味方を得ました。

○岩高まつり —文化祭にかわるもの—

放送で矢内先生から連絡があったように、様々なことから判断した結果、今年度の文化祭(岩高祭)は中止せざるを得ません。ただ、8月末の体育的行事(体育祭)の中にクラスごとに応援を兼ねたパフォーマンスを組み入れるなど、創意工夫による「マッチング」の余地は残されています。「岩高まつり」と題して8月末にはグラウンドで大いに盛り上がりましょう。今年のキーワード、コロナから学んだことは、「形」ではなく「本物」「真心」です。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。久々に一首。

耳だけで 聞く放送は 清らかで 想像力と判断力か